夕刊 臺灣日日新報 六月七日
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十八年六月八日（火曜日）
臺灣日日新報 第一万五千五百四十號 （一）

久邇宮德彥王殿下 けふ臣籍へ 御降下

龍田の御一家を御創立

【宮内省發表】久邇宮家多年王殿下には今般特に臣籍に御降下、御家名を龍田と御改稱遊ばされ、本日内閣總理大臣官邸に於て皇室典範第十條第二項の規定に依る皇族會議を開かれ、同殿下に對し臣籍に御降下の御儀を議せられた結果、全會一致を以て御降下の儀奏上あらせられ、即日勅許あらせられた旨、内閣總理大臣より宮内大臣に通牒があり、宮内大臣より龍田家御創立の儀を

聖將の遺骨

恭々・故郷長岡へ還る

【花蓮港】一度戰場の殺りない英靈の凱旋に喜山を元帥の國葬の儀は大日號された故陸軍の聖、昔前の儀を以て滯りなく終了したが故元帥の遺骨（分骨）は七日午前八時十五分着の臨かしの客車で花蓮港に向つた、四日分骨奉迎の為め三十分前に着された、この朝は曉子夫人元帥の令息正勝氏の家人に送られて佐藤氏宅を元帥山岡町の自邸から上野に着、駅前、駅構内者一同に見送られ午前八時十五分上野發の急行列車で花蓮港に向つた、四日分骨奉迎の為め三十分前に着された、この朝は曉子夫人元帥の令息正勝氏の家人に送られて佐藤氏宅を元帥山岡町の自邸から上野に着、駅前、駅構内者一同に見送られ午前八時十五分上野發の急行列車で花蓮港に向つた、四日分骨奉迎の為め

【花蓮港發】一行は五日午前十時から國葬大會場で大東亞戰爭に出陣戰歿されて祭られた故元帥の靈を迎へ本葬に參列する為め、同上總督伍郎同伴花蓮港出發、同日午後一時三十分花蓮港驛着、同驛から自動車にて同一時四十分花蓮港神社に參拜、直ちに同社社務所に於て分骨の儀を行ひ、午後二時三十分同社發、同三時四十分花蓮港驛着、同驛から特別列車にて同五時十分瑞穗着、同驛から自動車にて同五時四十分玉里着、同驛から特別列車にて同七時二十分池上着、同驛から自動車にて同七時五十分關山着、同驛から特別列車にて同九時二十分臺東着、同驛から自動車にて同十時二十分鹿野着、同驛から特別列車にて同十一時二十分屏東着、同驛から自動車にて同十一時五十分高雄着、同驛から特別列車にて翌六日午前一時二十分臺南着、同驛から自動車にて同二時二十分新營着、同驛から特別列車にて同四時二十分嘉義着、同驛から自動車にて同五時二十分斗六着、同驛から特別列車にて同七時二十分林内着、同驛から自動車にて同八時二十分竹山着、同驛から特別列車にて同九時二十分集集着、同驛から自動車にて同十時二十分埔里着、同驛から特別列車にて同十一時二十分豐原着、同驛から自動車にて同十二時二十分新竹着、同驛から特別列車にて同二時二十分桃園着、同驛から自動車にて同三時二十分臺北着、同驛から特別列車にて同四時二十分基隆着、同驛から自動車にて同五時二十分瑞芳着、同驛から特別列車にて同六時二十分八堵着、同驛から自動車にて同七時二十分松山着、同驛から特別列車にて同八時二十分上野着、同驛から自動車にて同八時四十五分目黒の元帥邸に到着、直ちに靈前に奉安した

特別賜金證書交付式

本東亞戰の軍神・加藤建夫へ

【臺北發】臺北市に於ける本東亞戰爭に戰歿された軍神加藤建夫少將の遺族に對する特別賜金證書交付式は五日午後一時から臺北市大和町三丁目臺北州廳に於て行はれた

皇奉分會の總務部長を錬成

【臺南發】皇奉臺南州分部では指導者養成の為め去る四日から六日迄の三日間州廳會議室に於て總務部長の錬成を行ふべく出四日から

臺灣日日新報　昭和十八年八月六日（火曜日）　第一万五千五百四十號　A（一）
（第二版）（附録一冊添附）　昭和十八年八月六日　（火曜日）　臺灣日日新報　（可認郵便物第三種）

畏し・軍需工場に御差遣

待從武官を

日本證券取引所の特別委員を指名

【東京發同盟】日本證券取引所の特別委員は左の如く七日より二年間

小委員會開催

【東京發同盟】證券會社に關する小委員會は七日午前十時より大藏省に於て開催する

陸海軍大臣謹話

來襲の敵機邀撃ち

廿五機を撃墜破

海鷲ショートランド島に戰果

【東京發同盟】大本營發表（六月七日十六時）

帝國海軍航空部隊は六月五日ショートランド島に來襲せる敵機群を邀撃、その二十機を撃墜せり、我が未歸還二機

寡を以て最大限の戰果

四機を撃墜

米空軍宜昌侵入を企つ

【重慶七日發同盟】

敵陣に突入奮戰

糸日谷部隊に輝く感狀

畏くも上聞に達せらる

【東京發同盟】陸軍省發表（六月七日十六時）

感狀

糸日谷部隊

同配屬部隊

臺灣の使命は加重

退京を前に　長谷川總督談

【東京支社特電】

佛印に新設

印度支那聯邦會議を

【西貢七日發同盟】

大阪臺灣クラブ改組強化に決定

【大阪支社發】

國債消化の當局案

ニューギニヤを爆撃

荒鷲ワウの敵陣地急襲

【ブニノスアイレス六日發同盟】メルボルン來電…

事前審査を始む

翼政會で七日から

食糧を漁り廻る

敵二師を猛攻撃

濠洲政界軋轢熾烈

總選擧に備へ政爭頻り

難治の慢性病と衰弱症なら

毒素老廢物を排尿に溶して病源を一掃する體液淨化還元療法

新

深

か

けふ大詔奉戴
臺灣日日新報社

社說

今日こそ非常決戰常會
敵必死の反攻に對處せよ

一

月さに一週間は決戰の公算極めて大である。本日の閣議は、十八日の御前會議に於ける時局認識に基き國民の總力を結集するの具體的方策を審議決定するものであるが、それは單に十五日から開始せられた國民運動の強化徹底を期するに止まらず、更に一段と心火の玉の發揚に最大の努力を傾注して皇土本土防衛に萬全を期するの決意を表明するものである。

二

敵がこのまゝでは、國民は何がなんでも必ずしてやるといふ氣魄に燃えてゐる。我が國民の眞價は實にこの時に發揮されるのである。我が國民は、十年前の國民ではない。我が國民は、十年後の國民ではない。我が國民は、今日の國民である。

三

今月の半ばとして見守られてゐる敵の動向は、我が國民の決意とは

浮動資金の證券化
設備買收代金等の吸收

企業整備と浮動資金の遊出

設備買收代金等の吸收

本島勞務行政の基本對策を樹立
供木垂範に倣へ
「木造船」へ島民の協力要望

糖業者に新たな使命
砂糖とパルプを渴望する中國

農村の熱意に感銘
本島視察談

食糧增產への活用
決戰臺灣、之が施策に萬全期す

脚光浴ぶ・清水溪天然堰堤　現地觀察記【上】

水量

公債は毎年度實施
中平局長　米穀問題を語る

準備進む
生產陣と海陸輸送陣の大評定會

聖將、忠魂に續かむ
米英擊滅へ總攻撃幾多

聖將、忠魂に續かむ
米英撃滅へ總實踐
けふ第十八回大詔奉戴日

宿敵撃碎國民運動
東京、大阪で火蓋切る

豪毅しかも部下思ひ
感狀に輝く糸日谷少佐

盛儀を極む
南支派遣軍の慰靈祭

大空へ、責務を體得
高專、大學の學徒"二日入隊"

大東亞建設は必成
中國人ます〳〵信倚

州で少年工を錬成
藤村知事、産業界視察談

準備進む
生産陣と海陸輸送陣の大評定會

本年度戸稅七十三萬圓
二百七十二萬九十七錢

必ず勝つぞと
はりきり勤務

哨員感謝資金
二百七十二萬九十七錢

本社提唱、空の防人へ
熱誠籠る十二萬圓
なほ引續き申込み受理

皇軍魂に
一夜を勇士の毛布に睡る

大空の快味を
滿喫する

戰時だ働かう
無痛強力強心劑
アポカンフェリン

戰爭海上火災保險取扱
戰爭傷害保險取扱
三菱海上火災
台北出張所
台北市榮町一ノ十一

國報廣健
戰時だ働かう
無痛強力強心劑
水溶性カンフル製
アポカンフェリン
台北市建成町三
代理店 東京堂藥局
電話代表六四〇五番
振替台灣四六二四番

壯烈・緬甸の空に散る 陸軍中尉 松岡鑑三君（上）

本島人最初の帝國軍人

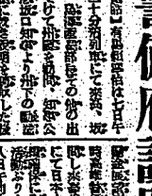
南方戰線護國の華

有爲の青年 輪湖陸軍兵長

民防空鐵桶の構へ

臺中州の學校防空研究會

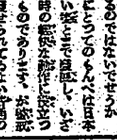
勞務奉公團二勇士



會服をはせ 貯蓄へ

もんぺは警報發令後に生きる

大日本婦人會臺南本部理事 藤岡豊子夫人談



我等聖將に續かん

間組從業員 赤誠の一萬圓

必勝期し總進軍

高雄市で 米英撃滅市民大會

臺南州若櫻九四名

兵への道（猛訓練）

銃後の守りは固し

硬貨回收二百五十萬枚

金屬回收代金を獻金

玉砕烈士に應へて

一日戰死應召軍に獻金

警備府訪問

宮尾知事と懇談

有馬伯臺南より高雄へ

六日民衆劇競演會

手ぬかりはない

勝ち抜かう、豫防戰

高千穂丸遭難と皆泳運動

佐多長春

保甲役員も官選

苗栗郡、當局指名を決議

未誠の獻金

海軍經理部

ラジオ科學

ラジオ

五月一日抽籤 戰時債券當籤番號表（其ノ四）

（番號表中太字ハ同別、括弧内ハ割増等級並金額）

（大蔵省・日本勤業銀行發表）